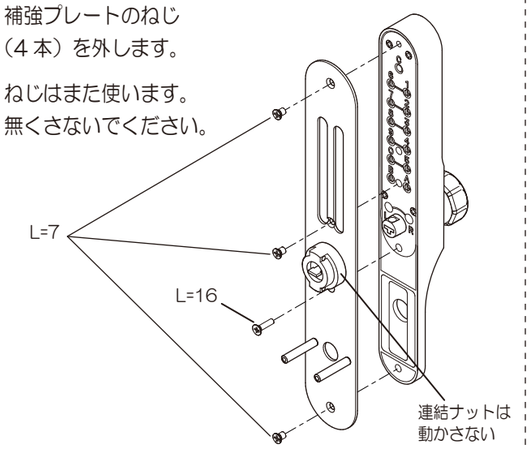
左吊元時の変更と確認

【１】キーレックス本体と補強プレートをはずす

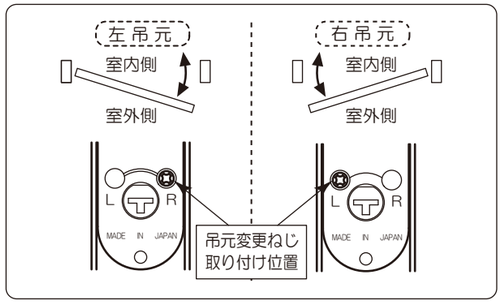
補強プレートのねじ
（４本）を外します。

ねじはまた使います。
無くさないでください。



【２】吊元変更ねじを入れ替えて、補強プレートを取り付ける

① 図のようにキーレックス本体ウラ側の吊元変更ねじを入れ替えます。
② キーレックス本体と補強プレートを【1】と逆に取り付けます。取付ねじの位置に注意してください。



記憶番号設定に関するご注意

- KL700 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。
  例）記憶番号　1·2·3　の場合
  1·2·3　と押しても　2·3·1　3·1·2　1·3·2　と押しても解錠できます。
- １つのボタンにつき設定は１回だけです。　（同じボタンを２度押しする設定はできません）
  例）1·1·2·3　や　1·2·2·3　の設定はできません。

注意　危険防止の為に以下をお読みください

■ **取付ねじのゆるみ**	● 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。
■ **受座の飛び出し**	● 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
■ **他の用途への使用**	● ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
◆ **操作上の注意（故障の原因となります）**	● 製品の分解、改造はしないでください。 ● デッドラッチ、デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。 ● ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
◆ **永くご使用頂くために**	● 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。 ● 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

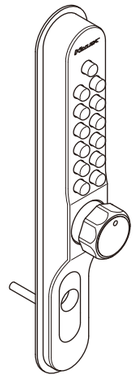
7273465

KEYLEX 700®

KL700 Mr－Ⅰ・Ⅱ
MIWA LA 対応取替錠

取扱説明書　（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22277
22278

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉
年　月　日
年　月　日
年　月　日
年　月　日
年　月　日
ただ今の記憶番号

キーレックス 700 シリーズ 保証書

お買い上げ日から１年間は、無料で修理を行なうことをお約束致します。
但し、誤用、取り扱いの不注意、災害、不当な修理や改造等に起因する故障による場合、さらに本証のお買い上げ日 及び 販売店名の記入のない場合は、保障期間内でも有料修理になります。

機 種 名：　**キーレックス 700 シリーズ**

お買い上げ日：　年　月　日　保証期間：お買い上げ日より１年間

販売店
住所・店名

品質ロット No.　　検印

株式会社　長沢製作所

NAGASAWA

東京支店　TEL. 03-5383-1811（代）　FAX. 03-5967-3103
大阪支店　TEL. 06-6783-5091（代）　FAX. 06-6783-5092
福岡出張所　TEL. 092-524-7031（代）　FAX. 092-524-7032
札幌出張所　TEL. 011-583-3575（代）　FAX. 011-583-3572

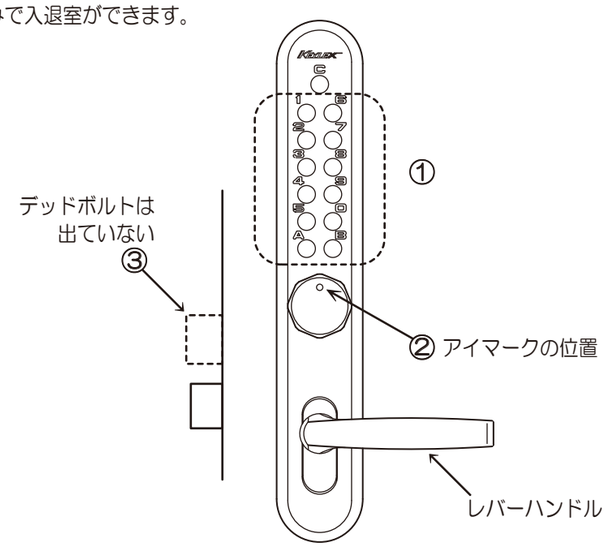
基本操作

施錠されていない場合は、レバーハンドル操作のみで入退室ができます。
施解錠は鍵操作がボタン操作になります。

ご使用前に確認してください。

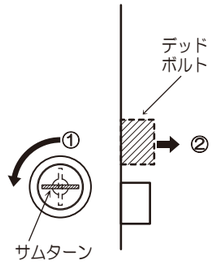
① 登録している記憶番号
② ロックターンのアイマークが
　図の位置（真上）にある
③ デッドボルトが錠に収まっている

※ 図は右吊元仕様です

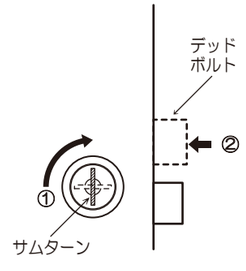


室内側	室外側
施 錠 ① サムターンを丁番側に 90° 回す ② デッドボルトが出て、施錠されます	施 錠 ① ロックターンを丁番側に 90° 回す ② デッドボルトが出て、施錠されます
解 錠 ① サムターンを戸先側に 90° 回す ② デッドボルトが収まり、解錠されます	解 錠 ① C ボタンを押してください。 　誤操作の記憶番号が解除されます ② 記憶ボタンを確実に押してください ③ ロックターンを戸先側に回しきります 　（アイマーク：ヨコになる） ④ デッドボルトが収まり、解錠されます ⑤ ロックターンを90° 元に戻します（アイマーク：ヨコ→タテ）

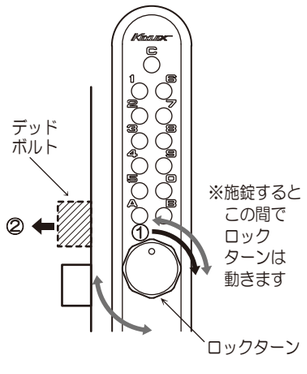
施 錠



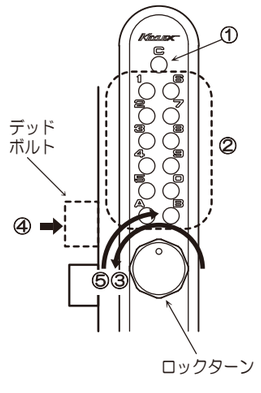
解 錠



施 錠



解 錠

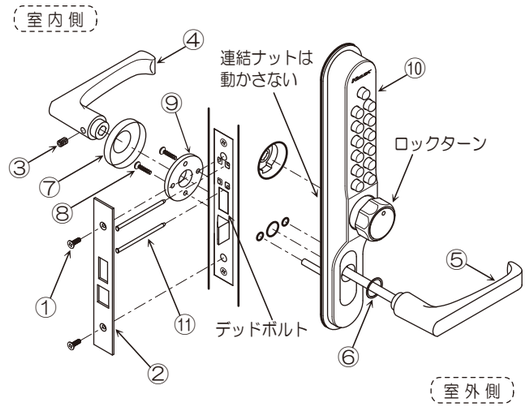


※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

記憶番号の変更手順

【１】キーレックス本体を取り外します

錠のデッドボルトが収まっている状態で取り外します。
取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。

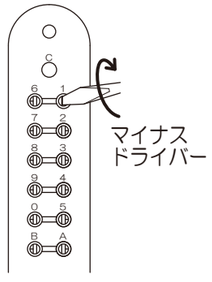


※本図は右吊元仕様

Ⅰ：①フロント板固定ねじをはずし、②フロント板をはずします。
Ⅱ：③レバー固定ねじをはずし、④⑤レバーを抜き取ります。
　⑥リングスペーサをなくさないでください。
Ⅲ：⑦座カバーをはずします（ねじ込み式は回転させ、
　はめ込み式は⊖ドライバーではずします）。
Ⅳ：⑧補強座固定ねじをはずし、⑨補強座をはずします。
Ⅴ：⑩キーレックス本体の落下に注意しながら、⑪シリンダー
　固定ピン２本を⊖ドライバーで抜き取り、⑩キーレックス
　本体を取り外します。
　⑩キーレックス本体裏側の連結ナットが動かないように
　取り外してください。

【２】本体裏側で記憶番号の設定変更をします

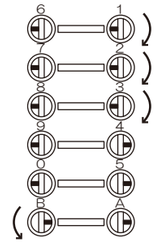
①現在記憶されているロックピンを回転させ
（ロックピンの横溝を外側にする）
すべてをクリアにしてください。



本体裏側

②新規に記憶する番号を必ず記録して
ください。裏面に記入欄があります。
③新規記憶番号のロックピン横溝を
中央部の横溝にあわせてください。

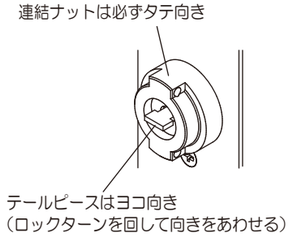
例：Ｂ１２３



④新規記憶ボタンを押し
ロックターンが確実に
作動することを確認して
ください。

基本操作 室外側欄を
参照します。

【３】本体を取り付けます



【１】と逆の順番で取り付けます。

キーレックス本体を錠にセットする際、キーレックス本体ウラ面の連結ナットが動かないようにしながら、テールピースの向き、錠の解錠状態（デッドボルトが出ていない）を確認し、取り付けてください。

補強座を取り付けるときは、レバーを仮嵌めして位置決めをします。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。
正しく作動しない場合は、記憶番号と吊元変更ねじの確認をしてください。